

豚肉情勢

3月13日 更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目		内 容				備 考																																																				
供給	1.国産	<p>○ 1月の全国豚と畜頭数は、1,410千頭と前年並みとなった。(前年比100.5%) 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道105.4%、東北101.0%、関東100.1%、北陸甲信越103.1%、東海98.6%、近畿96.9%、中四国100.4%、九州・沖縄99.3%</p> <p>○ 2月の全国と畜頭数は、1,273千頭(速報値2月28日まで集計、前年比98.7%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年と同日で、1日当たりの平均と畜頭数は70,739頭(前年実績:71,672頭/日、前年差▲933頭/日)となった。</p> <p>○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;2月24日付け)によると、3月;1,395千頭(前年比103%)、4月;1,391千頭(同101%)、5月;1,185千頭(同91%)、6月:1,360千頭(同110%)、7月:1,382千頭(同108%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約103%と前年を上回る見込みとなった。</p>				<p>国内生産量の推移 (千頭:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">国内と畜頭数</th> <th colspan="2">農水省出荷予測 (千頭:%)</th> </tr> <tr> <th>千頭</th> <th>前年比</th> <th>暦年</th> <th>出荷予測</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年</td> <td>16,577</td> <td>98.5</td> <td>R8年 3月</td> <td>1,395 103</td> </tr> <tr> <td>R5年</td> <td>16,407</td> <td>99.0</td> <td>R8年 4月</td> <td>1,391 101</td> </tr> <tr> <td>R6年</td> <td>16,266</td> <td>99.1</td> <td>R8年 5月</td> <td>1,185 91</td> </tr> <tr> <td>R7年</td> <td>16,064</td> <td>98.8</td> <td>R8年 6月</td> <td>1,360 110</td> </tr> <tr> <td>R7年 10月</td> <td>1,478</td> <td>101.5</td> <td>R8年 7月</td> <td>1,382 108</td> </tr> <tr> <td>R7年 11月</td> <td>1,371</td> <td>97.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7年 12月</td> <td>1,491</td> <td>101.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R8年 1月</td> <td>1,410</td> <td>100.5</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				暦年	国内と畜頭数		農水省出荷予測 (千頭:%)		千頭	前年比	暦年	出荷予測	R4年	16,577	98.5	R8年 3月	1,395 103	R5年	16,407	99.0	R8年 4月	1,391 101	R6年	16,266	99.1	R8年 5月	1,185 91	R7年	16,064	98.8	R8年 6月	1,360 110	R7年 10月	1,478	101.5	R8年 7月	1,382 108	R7年 11月	1,371	97.3			R7年 12月	1,491	101.8			R8年 1月	1,410	100.5		
	暦年	国内と畜頭数		農水省出荷予測 (千頭:%)																																																						
千頭		前年比	暦年	出荷予測																																																						
R4年	16,577	98.5	R8年 3月	1,395 103																																																						
R5年	16,407	99.0	R8年 4月	1,391 101																																																						
R6年	16,266	99.1	R8年 5月	1,185 91																																																						
R7年	16,064	98.8	R8年 6月	1,360 110																																																						
R7年 10月	1,478	101.5	R8年 7月	1,382 108																																																						
R7年 11月	1,371	97.3																																																								
R7年 12月	1,491	101.8																																																								
R8年 1月	1,410	100.5																																																								
2.輸入	<p>○ 1月の輸入通関実績は、豚肉全体で83.2千ト(前年比103.2%、前月比121.6%)と前年を上回った。 内訳は、チルドが36.2千ト(前年比112.7%、前月比104.3%)、フローズンは47.0千ト(同96.9%、同139.3%)となった。 輸入相手国別では、チルドはカナダ、メキシコが増加した。フローズンはブラジル、米国が増加した。 (参考)形態別相手国別輸入数量 チルド ;カナダ19.4千ト(前年比116.6%)、米国12.0千ト(同96.5%)、メキシコ4.8千ト(同158.9%) フローズン ;スペイン14.2千ト(前年比89.6%)、ブラジル11.7千ト(同127.2%)、米国5.4千ト(同109.6%)、メキシコ4.5千ト(同89.7%)、チリ3.2千ト(同100.4%)、カナダ2.6千ト(同82.9%)</p> <p>○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(2月25日公表)によると、2月の輸入量:75.5千ト(前年比105.0%)、3月の輸入量:74.2千ト(同112.5%)と見込まれる。 チルドは、2月は価格規格等で評価のあるカナダ・メキシコ産が増加し、前年通関ずれ込みで輸入量が低水準であったことから、前年同月を上回る一方、3月は米国产の減少が見込まれること等から下回ると予測する。フローズンは、2月は元々前年同月を下回って推移してきた中、ASF発生によるスペイン産の輸入一時停止措置の影響も加わったことで、前年同月を下回ると予測する。3月はブラジル産、米国产、カナダ産、デンマーク産の増加が見込まれることから上回ると予測する。3か月平均では、チルド、フローズンともに前年同月を上回ると見込んでいる。 令和8年 2月:合計75.5千ト(前年比105.0%)、チルド34.7千ト(同125.7%)、フローズン40.8千ト(同 92.1%) 令和8年 3月:合計74.2千ト(前年比112.5%)、チルド32.9千ト(同98.3%)、フローズン41.3千ト(同127.1%) 直近3か月(1月~3月)平均:合計76.6千ト(前年比105.2%)、チルド34.4千ト(同110.7%)、フローズン42.2千ト(同101.1%)</p>				<p>輸入量の推移 (ト・%) 財務省:通関実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">輸入数量</th> <th colspan="2">チルド数量</th> </tr> <tr> <th>ト</th> <th>前年比</th> <th>ト</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年</td> <td>977,158</td> <td>108.2</td> <td>403,854</td> <td>96.1</td> </tr> <tr> <td>R5年</td> <td>919,713</td> <td>94.1</td> <td>393,416</td> <td>97.4</td> </tr> <tr> <td>R6年</td> <td>976,482</td> <td>106.2</td> <td>384,908</td> <td>97.8</td> </tr> <tr> <td>R7年</td> <td>938,680</td> <td>96.1</td> <td>398,167</td> <td>103.4</td> </tr> <tr> <td>R7年 10月</td> <td>84,953</td> <td>97.9</td> <td>38,494</td> <td>112.6</td> </tr> <tr> <td>R7年 11月</td> <td>65,353</td> <td>83.5</td> <td>30,816</td> <td>101.2</td> </tr> <tr> <td>R7年 12月</td> <td>68,401</td> <td>89.3</td> <td>34,659</td> <td>100.3</td> </tr> <tr> <td>R8年 1月</td> <td>83,160</td> <td>103.2</td> <td>36,154</td> <td>112.7</td> </tr> </tbody> </table>				暦年	輸入数量		チルド数量		ト	前年比	ト	前年比	R4年	977,158	108.2	403,854	96.1	R5年	919,713	94.1	393,416	97.4	R6年	976,482	106.2	384,908	97.8	R7年	938,680	96.1	398,167	103.4	R7年 10月	84,953	97.9	38,494	112.6	R7年 11月	65,353	83.5	30,816	101.2	R7年 12月	68,401	89.3	34,659	100.3	R8年 1月	83,160	103.2	36,154	112.7	
暦年	輸入数量		チルド数量																																																							
	ト	前年比	ト	前年比																																																						
R4年	977,158	108.2	403,854	96.1																																																						
R5年	919,713	94.1	393,416	97.4																																																						
R6年	976,482	106.2	384,908	97.8																																																						
R7年	938,680	96.1	398,167	103.4																																																						
R7年 10月	84,953	97.9	38,494	112.6																																																						
R7年 11月	65,353	83.5	30,816	101.2																																																						
R7年 12月	68,401	89.3	34,659	100.3																																																						
R8年 1月	83,160	103.2	36,154	112.7																																																						
需要	1.家計消費	<p>○ 総務省発表の1月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,913g(前年比106.9%)、支出金額が3,126円(同107.8%)となり、購入量、支出金額ともに前年同月を上回った。</p>				<p>家計消費量 (㍑, 円, %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="4">全国1世帯当り</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>金額</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年</td> <td>22,297</td> <td>98.8</td> <td>32,487</td> <td>101.9</td> </tr> <tr> <td>R5年</td> <td>22,031</td> <td>98.8</td> <td>33,553</td> <td>103.3</td> </tr> <tr> <td>R6年</td> <td>21,829</td> <td>99.1</td> <td>33,817</td> <td>100.8</td> </tr> <tr> <td>R7年</td> <td>22,132</td> <td>101.4</td> <td>35,414</td> <td>104.7</td> </tr> <tr> <td>R7年 10月</td> <td>1,892</td> <td>106.7</td> <td>3,021</td> <td>106.0</td> </tr> <tr> <td>R7年 11月</td> <td>1,990</td> <td>107.2</td> <td>3,185</td> <td>108.8</td> </tr> <tr> <td>R7年 12月</td> <td>1,958</td> <td>98.2</td> <td>3,285</td> <td>104.4</td> </tr> <tr> <td>R8年 1月</td> <td>1,913</td> <td>106.9</td> <td>3,126</td> <td>107.8</td> </tr> </tbody> </table>				暦年	全国1世帯当り				数量	前年比	金額	前年比	R4年	22,297	98.8	32,487	101.9	R5年	22,031	98.8	33,553	103.3	R6年	21,829	99.1	33,817	100.8	R7年	22,132	101.4	35,414	104.7	R7年 10月	1,892	106.7	3,021	106.0	R7年 11月	1,990	107.2	3,185	108.8	R7年 12月	1,958	98.2	3,285	104.4	R8年 1月	1,913	106.9	3,126	107.8
	暦年	全国1世帯当り																																																								
		数量	前年比	金額	前年比																																																					
R4年	22,297	98.8	32,487	101.9																																																						
R5年	22,031	98.8	33,553	103.3																																																						
R6年	21,829	99.1	33,817	100.8																																																						
R7年	22,132	101.4	35,414	104.7																																																						
R7年 10月	1,892	106.7	3,021	106.0																																																						
R7年 11月	1,990	107.2	3,185	108.8																																																						
R7年 12月	1,958	98.2	3,285	104.4																																																						
R8年 1月	1,913	106.9	3,126	107.8																																																						
2.小売動向 1月概況	<p>○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の1月の販売統計速報によると、畜産部門の売上高は1,306.7億円(前年比106.6%、既存店ベース105.4%)と前年を上回った。 価格高騰を背景に豚肉と鶏肉へのシフトが継続している。豚肉は日常使い商材が伸長した。鶏肉は相場高が続く中でもモモ・ムネ等の定番部位は堅調で鍋商材の需要は地域差が見られた。牛肉は週末を中心に銘柄牛や和牛に回復傾向が見られ、切り落とし等手頃な価格帯商品は好調となった。ハム・ソーセージは低調。</p>				<p>加工品仕向量 (千ト・%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">加工品仕向量</th> <th colspan="2">市況の推移(東京市場)(円/kg・%)</th> </tr> <tr> <th>千ト</th> <th>前年比</th> <th>暦年</th> <th>豚枝肉「上物」(税込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年</td> <td>368.5</td> <td>97.1</td> <td>R4年</td> <td>582 106.7</td> </tr> <tr> <td>R5年</td> <td>336.4</td> <td>91.3</td> <td>R5年</td> <td>609 104.6</td> </tr> <tr> <td>R6年</td> <td>349.2</td> <td>103.8</td> <td>R6年</td> <td>651 106.8</td> </tr> <tr> <td>R7年</td> <td>345.0</td> <td>98.8</td> <td>R7年</td> <td>650 99.9</td> </tr> <tr> <td>R7年 10月</td> <td>31.1</td> <td>100.2</td> <td>R7年11月</td> <td>587 102.8</td> </tr> <tr> <td>R7年 11月</td> <td>30.7</td> <td>94.4</td> <td>R7年12月</td> <td>582 91.2</td> </tr> <tr> <td>R7年 12月</td> <td>30.3</td> <td>105.1</td> <td>R8年1月</td> <td>561 94.0</td> </tr> <tr> <td>R8年 1月</td> <td>26.4</td> <td>101.3</td> <td>R8年2月速報値</td> <td>603 97.1</td> </tr> </tbody> </table>				暦年	加工品仕向量		市況の推移(東京市場)(円/kg・%)		千ト	前年比	暦年	豚枝肉「上物」(税込み)	R4年	368.5	97.1	R4年	582 106.7	R5年	336.4	91.3	R5年	609 104.6	R6年	349.2	103.8	R6年	651 106.8	R7年	345.0	98.8	R7年	650 99.9	R7年 10月	31.1	100.2	R7年11月	587 102.8	R7年 11月	30.7	94.4	R7年12月	582 91.2	R7年 12月	30.3	105.1	R8年1月	561 94.0	R8年 1月	26.4	101.3	R8年2月速報値	603 97.1	
暦年	加工品仕向量		市況の推移(東京市場)(円/kg・%)																																																							
	千ト	前年比	暦年	豚枝肉「上物」(税込み)																																																						
R4年	368.5	97.1	R4年	582 106.7																																																						
R5年	336.4	91.3	R5年	609 104.6																																																						
R6年	349.2	103.8	R6年	651 106.8																																																						
R7年	345.0	98.8	R7年	650 99.9																																																						
R7年 10月	31.1	100.2	R7年11月	587 102.8																																																						
R7年 11月	30.7	94.4	R7年12月	582 91.2																																																						
R7年 12月	30.3	105.1	R8年1月	561 94.0																																																						
R8年 1月	26.4	101.3	R8年2月速報値	603 97.1																																																						
3.加工肉 仕向量	<p>○ 日本ハム・ソーセージ工業協同組合発表の1月の豚肉加工品仕向量は26.4千ト(前年比101.3%)と、加工品の値上げによる販売不振が続いているが、前年を上回った。 内訳は、国産原料5.3千ト(前年比101.9%)・輸入原料21.1千ト(同101.2%)となった。 なお、上記仕向量とは別枠のシーズンドボークは8.5千ト(前年比95.3%)と、前年を下回った。</p>																																																									
在庫	<p>○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(2月25日公表)によると、1月末の推定期末在庫量は213.1千ト(前年比99.6%、前月比104.0%)となり、前年並みとなった。 内訳は、輸入品;190.2千ト(前年比99.8%、前月比104.4%)と前年並み、国産品;22.9千ト(同97.3%、同100.0%)と前年を下回った。 また、今後の期末在庫は、2月は219.3千ト(同101.1%)、3月は222.5千ト(同102.7%)とともに前年を上回る見込みで推移するものと見られる。</p>																																																									
枝肉相場	1.R8年2月 速報値	<p>○ 2月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;2月28日時点)は、603円/kg(前年比97.1%)と前年を下回った。 2月の相場は、全国的な寒波の襲来等により肉豚の成育や出荷に影響が出たことで需給が引き締まり、月平均では前年を下回ったが、前月は上回った。</p>																																																								
	2.予測 R8年3月	<p>○ 3月の相場は、月末にかけて学校給食の休止や卸売業者の決算に向けた在庫調整など需要の一時的低下があるものの、気温が徐々に上昇することで花見等の行楽需要の増加に期待できることから、強含みでの推移を見込む。</p> <p><相場予想: 東京市場、税込み></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1月実績</th> <th>2月実績(速報値)</th> <th>3月予測</th> <th>4月予測</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【上物】(前年比)</td> <td>561円/kg (94.0%)</td> <td>603円/kg (97.1%)</td> <td>610円/kg (99.2%)</td> <td>620円/kg (103.5%)</td> </tr> </tbody> </table>					1月実績	2月実績(速報値)	3月予測	4月予測	【上物】(前年比)	561円/kg (94.0%)	603円/kg (97.1%)	610円/kg (99.2%)	620円/kg (103.5%)																																											
	1月実績	2月実績(速報値)	3月予測	4月予測																																																						
【上物】(前年比)	561円/kg (94.0%)	603円/kg (97.1%)	610円/kg (99.2%)	620円/kg (103.5%)																																																						